
【集合】 合同・ナッジ理論活用

● 研修のねらい

- ・行動経済学・ナッジ理論※について、活用事例などを踏まえ理解する。
- ・ナッジを活用した、より効果的な事業施策への活用方法の基本スキルを資料作成演習により習得する。

※ナッジ(nudge)とは、「ひじでそっと押す」という意味。ひじをちょっとつついて「良い選択ができるように人々を手助けする」方法論です。

● 日程・開催場所

第1回 令和5年9月14日(木) 自治総合研修センター

第2回 令和5年9月15日(金) 自治総合研修センター

● 予定人員

45人×2回 計90人(県40人, 市町50人)

● 対象者

(県・市町) 希望する職員

● 講師(予定)

《大阪大学特任教授(常勤) 大竹 文雄》

大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。専門は行動経済学・労働経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞等を受賞。著書多数。

《大阪大学特任准教授(常勤) 佐々木 周作》

京都大学大学院経済学研究科特定講師・東北学院大学経済学部准教授を経て、現職。専門は応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。行動経済学会理事、環境省等の中央府省庁や地方自治体で有識者委員等を務める。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・行動経済学・ナッジ理論の基礎知識

・自治体の活用事例

・ナッジを活用した問題解決・資料作成・演習